

苦難の予告

マタイによる福音書一六章21〜28節

この時から、イエスは、ご自分が必ずエルサレムに行き、
…多くの苦しみを受けて殺され、三日目に復活することにな
っている、と弟子たちに打ち明け始められた。(21)

主イエスはペトロが信仰告白をしたのを機に、ご自分が苦難の道を歩み、殺され、三日目に甦ることを初めて弟子たちに明かされました。けれどもペトロはその言葉を受け止めることができませんでした。当時のユダヤ人にとり、メシアが苦難を受けて死ぬなどということは考えられないことでした。メシアとは力強い勇者であり、あらゆる敵をうち破り、ユダヤ人を敵の手から解放してくれる人物と考えられていたのです。しかし、主イエスは人々が期待するようなメシアではなく、罪人たちのために十字架で死に、復活されるお方としてこの世に来られたのです。人間的な自分の思いにまかせてこの苦難の道を否定する者は、たとえペトロであってもサタンの手下となってしまう。自分が勝手に造り上げるメシアではなく、十字架のイエスを「あなたこそ主」と告白させていただきましょう。